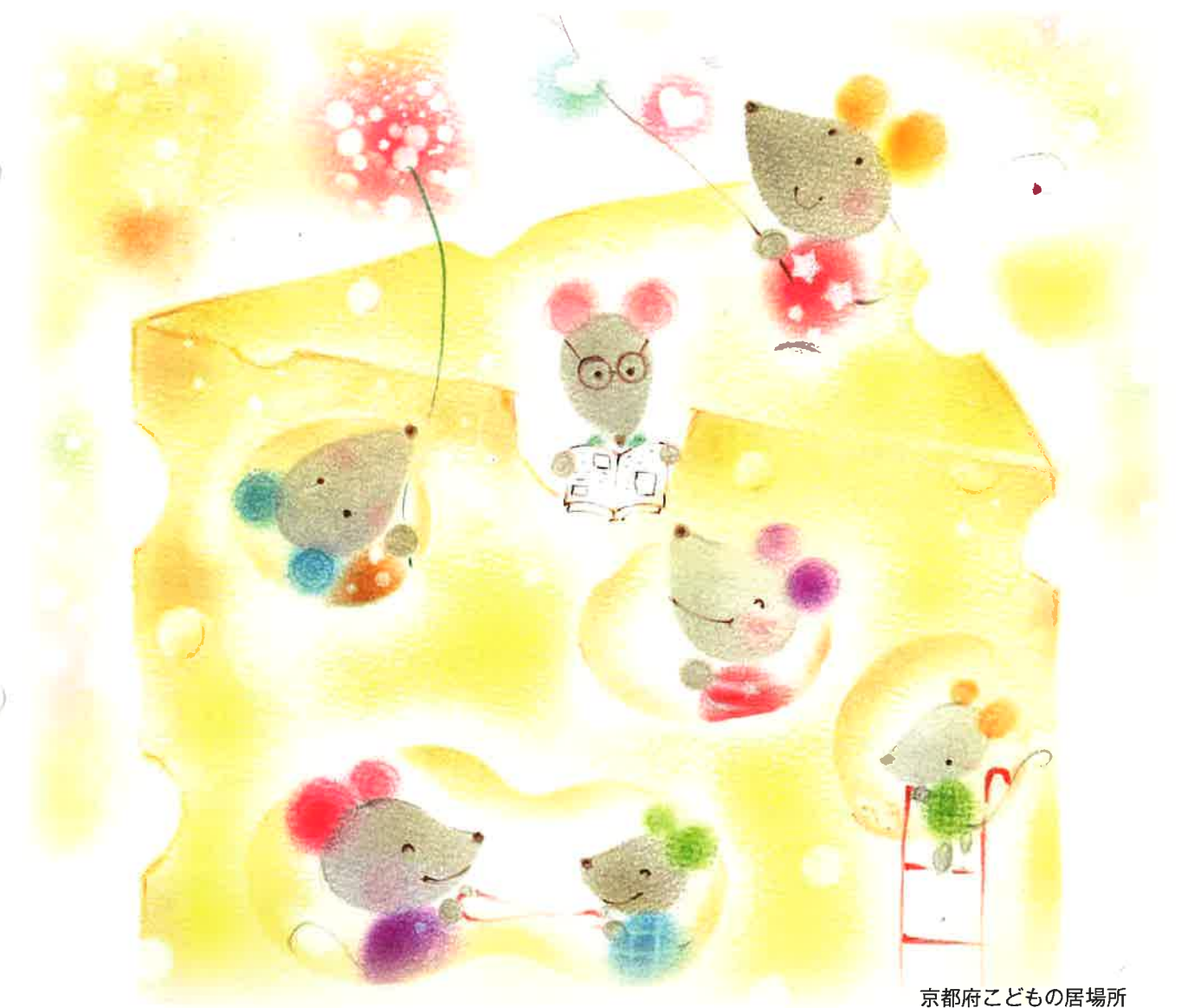


道しるべ

令和2・1
No.57

「この道の向こうには、夢がある」



京都府こどもの居場所

● 新年のあいさつ [会長]、知事と新入学児童等のつどい	P.2
● 新年のあいさつ [知事]	P.3
● 知っとコーナー	P.4
● ひとり親家庭自立支援センターの事業、母子部地域別交流会	P.5
● 京都府母子寡婦福祉大会	P.7
● ブロック別懇話会、指導者研修会、あとがき	P.8



「今を見つめて」

京都府母子寡婦福祉連合会 会長 東 美佐子

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、お健やかに令和最初のお正月をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

令和元年がよい年であるように願っておりましたが、10月の台風の影響で、東日本各地で甚大な災害を受けました。テレビ、新聞等で目にするたび悲しくなりません。一日でも早く元の生活が出来ますようお祈りするばかりです。

さて、今年は京都府母子寡婦福祉連合会が発足し、70周年を迎えます。昭和25年、戦争未亡人の会として始まり、現在ひとり親家庭の会として国や府、そして市町村のご理解とご支援のもと長い年月をかけ築きあげてきた母子福祉に関する施策や事業は、少しずつではありますが進んできております。そして今年4月からは、高等

教育の充実として低所得の方々に、無償化などのうれしいニュースもあります。大学へ進学したくても家計を考えると行けない、母親に苦勞はかけたくない等、子どもさんは色々考えております。その夢の実現の為に、大変ありがたい施策です。今まで大変であった寡婦の皆様、今苦勞をしている若いお母さん達と手を取り合って、「我が幸は我が手で」をモットーに皆で励まし助け合っ、お互いの幸せの為に頑張っていきましょう。

最後になりましたが、母子寡婦福祉の推進に対する深いご理解と温かいご支援を頂いております西脇隆俊知事様をはじめ、関係各位の皆様には厚くお礼申し上げます。

会員の皆様にとってこの一年が穏やかで楽しい年になりますようお祈り申し上げます。



「夢や希望を実現できる年に」

京都府知事 西脇 隆俊

新年あけましておめでとうございます。

府民の皆さまにおかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年を振り返って

昨年は新天皇が即位され、平成から令和へ、新しい時代が幕を開けました。令和という元号には「人々が美しく心を寄せ合う中で、文化が生まれ育つ」という願いが込められております。日本文化の中心である京都府として、府内の多様な地域文化を世界へ発信していく務めを改めて自覚する契機ともなりました。

振り返りますと、6月のG20大阪サミット、9月のICOM（国際博物館会議）京都大会、そして先のラグビーワールドカップ2019日本大会と、折々に多くの観光客の皆さまにお越しいただき、世界中から日本が、そして京都が目目される一年でありました。

さらに、京都大学ご出身の吉野彰氏がノーベル化学賞を受賞され、2年連続で京都ゆかりの方が栄誉に輝くという大変うれしい出来事もございました。

一方、京都アニメーション第1スタジオの放火によって多くの方々の方が亡くなるという大変痛ましい事件も起こりました。衷心よりお悔やみを申し上げますとともに、今なお治療を続けておられる方々の一日も早いご回復を祈念申し上げます。京都府といたしましても、引き続き、被害者やご家族の皆さまに寄り添った支援をしてまいります。

「京都夢実現プラン」始動

われわれが置かれている社会情勢を見渡すと、少子・高齢化と人口減少の本格化に加え、グローバル化の進展によって国際情勢の変化がわれわれの生活にも直接影響を及ぼす状況にあります。また、頻発する自然災害など多くの課題が横たわっています。これらに対応するため、京都府では昨年10月、府政運営の指針となる新しい京都府総合計画「京都夢実現プラン」を策定いたしました。

この総合計画は、「一人ひとりの夢や希望が全ての地域で実現できる京都府」という2040年の将来像をめざし、行政分野や地域ごとの具体的な取組方策等を定めたものです。府民の皆さまや地域、企業などと共に取組を進め、総力を結集し、めざす将来像の実現に向け果敢にチャレンジしてまいります。



ひとり親家庭を励ます知事と新入学児童等のつどい

多くの子どもたちにお声かけください!!

今年も京都府・府母子寡婦福祉連合会・府民生児童委員協議会の共催で、次のとおり開催されます。知事さんと一緒に親子でゲームを楽しめます。

- 日時** 令和2年3月1日(日) 10:30~14:30【予定】
- 場所** 京都テルサ
- 参加対象** 新入学児童とその親(兄弟姉妹も一緒に参加して頂けます。)※昨年参加できなかった在学一年生も対象です。
- 内容** お祝いの会(知事と一緒に親子でゲーム、記念品のプレゼント)
あそびのひろば(子ども)、講演会(親)
- 申込方法** 各地域母子会会長あてに申し込んでください。
- 申込期限** 令和2年1月30日(木)



ひとり親家庭のみなさんに役立つ情報を提供します！

給付型奨学金

母子家庭で一番の悩みと言えば「こどもの教育費」ではないでしょうか？返済不要の給付型奨学金を紹介します。インターネット等で、ぜひチェックしてみてください！

- 夢を応援基金「ひとり親家庭支援奨学金制度」
- あすのば入学・新生活応援給付金
- 京都新聞「愛の奨学金」 ● 中信育英会奨学金
- ほくと育英会奨学金 ● 独立行政法人日本学生支援機構(JASSO)
- 朝日奨学会奨学金制度 ● 公益財団法人電通育英会

母子家庭の人間ドック

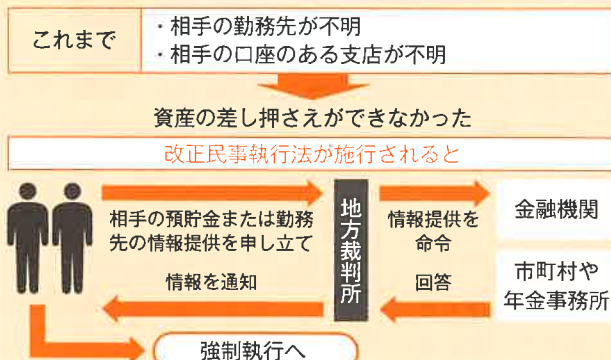
検査に伴う自己負担は無料で、母子家庭の母の健康管理のため、人間ドックを受診できます。

- 医療法人創健会西村診療所
医療法人創健会西村診療所様のご厚意で5月頃に実施予定。申込み、詳細については、各地域母子会会長まで。
- 京都第一赤十字病院
京都第一赤十字病院、日本赤十字社京都府支部様のご厚意で12月～2月まで実施。申込み、詳細については、市町村母子家庭等担当課又は該当の京都府各保健所福祉室まで。
※今年度の申込みは、すでに終了しています。

民事執行法の改正

裁判などで決めたこどもの養育費が支払われず悩んでいませんか？元配偶者の財産の差し押さえがしやすくなる改正民事執行法が令和元年5月に成立しました。(1年以内に施行)確定判決などに基づいて地方裁判所に申し立てれば、相手の預貯金の口座情報や勤務先の情報を、対象の金融機関や、住民税の徴収などを元に職場を把握している市町村などから取得できます。

養育費不払い者の資産を差し押さえしやすくなるポイント



※申し立てできるのは審判や調停、公正証書(強制執行ができる旨の記載があるもの)で養育費が決まっている場合

高等教育の修学支援新制度

大学・短期大学・高等専門学校・専門学校の授業料減免制度の創設、給付型奨学金の支給の拡充が令和2年4月1日より実施予定。対象となる学生は、住民税非課税世帯及びそれに準ずる世帯の学生(令和2年度の在学学生(既入学者も含む))から対象。

- 授業料減免
● 各大学等が、所得によって以下の上限額まで授業料等の減免を実施。
・国公立大学 54万円 ・私立大学 70万円
- 給付型奨学金
● 日本学生支援機構が、所得によって以下の上限額まで各学生に支給を実施。
● 学生が学業に専念するため、学生生活を送るのに必要な学生生活費を賄えるよう措置(給付型奨学金の給付額(年額)(住民税非課税世帯))
・国公立大学(自宅外生) 80万円
・私立大学(自宅外生) 91万円

詳細は、文部科学省ホームページ「高等教育の修学支援新制度」参照
http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/hutankeigen/index.htm

JR 定期券の割引

児童扶養手当の支給を受けている世帯、および生活保護を受けている世帯の世帯員に対して通勤定期乗車券の運賃を3割引した「特定者用の通勤定期乗車券」が発売されています。

手続きはあらかじめ「特定者資格証明書」の交付を受けるとともに、定期券購入時に「特定者用定期乗車券購入証明書」を駅に備付けの定期乗車券購入申込書とともに窓口へ提出します。「特定者資格証明書」および「特定者用定期乗車券購入証明書」は、児童扶養手当の支給対象者の方は市町村長が、生活保護の支給対象者の方は、福祉事務所長が発行します。

生活の知恵

令和元年10月1日の消費税10%増税に伴い、消費者に最大5%が還元される「ポイント還元制度(正式には、キャッシュレス・消費者還元事業)」が開始しています。消費者が中小店舗で商品やサービスを購入する際に、キャッシュレス決済(クレジットカード、電子マネー、QRコード決済など)で代金を支払った場合には、購入額の最大5%のポイントが付与されます。増税から令和2年夏の東京五輪前までの9ヶ月間実施されます。

自立支援センターだより

城陽で「ひとり親家庭のための親支援講座」を実施

11月10日(日)、午前10時半から午後4時まで、城陽市のばれっとJOYOにおいて「ママ再就職・子育て応援フェア in ばれっとJOYO」(ひとり親家庭のための親支援講座)を府南部で初めて開催。参加者数は大人が36名、子どもが5名の合計41名。午前中は就労相談、午後は東京から菅原とも子先生を迎え「女性の再就職」をテーマにグループワーク。その後、5名のアロマセラピストによるハンドマッサージ体験とメイクアップアーティストによるメイクアップレッスンを実施。香り玉の記念品も配布され体験者からは非常に好評。子育て応援として絵本の読み聞かせなど城陽お話しサークルが協力してくれました。

次回は、令和2年2月16日(日)京都テルサにて開催します。みなさんご参加ください！



メイクアップレッスン



女性の再就職講座



ハンドマッサージの状況

母子部地域別交流会



北部

宮津市母子寡婦福祉会 母子連絡員

宮崎 静香

9月15日(日)実施。

丹後海と星の見える丘公園にて、交流会を行いました。地震や台風など災害が多発する中、災害時を想定とした食事作りを体験する場を設けました。インストラクターの方に火の起こし方を学び、子ども達は落ち葉や枯れ木を拾う事から始め、マッチの使い方、火のつけ方を教わり、伸び伸びと火起こし体験をする事が出来ました。食事はジップロックを使用し、湯煎でカレー作りをし釜でご飯を炊き、ガスがなくても食事が作れる事を子ども達に教える事が出来ました。

午後から子ども達はワークショップ、親は交流会。毎年の事ではありますが、金銭面の遣り繰りが大変だという事。塾の月謝が高く通わせられない。児童扶養手当の減額などにより独立したくても出来ないなど、悩みは尽きません。交流会を通じ、和気あいあいと話し弾み、充実した一日が過ごせました。



中部

亀岡市母子寡婦福祉会 母子連絡員

松下 幸子

8月10日(土)実施。

交流会には、23名の参加者がありました。会議の時に織物をしてみたいと提案があつて、少し知識のある私が指導をしてフォトフレームで作るコースターを織りました。

作って遊べる物もあつたほうが楽しそうだったので、フェルトボールも作りました。毛糸を丸めて芯を作り、羊毛を巻き付けてビニール袋に入れます。洗剤を混ぜた水を振りかけて空気を抜き、手でモミモミころころしていると10分程で出来上がります。乾いたら、厚紙のコーンにタコ糸を付けて、けん玉にします。今回は、物作りの行程を知って貰える機会になってよかったと思います。



南部

宇治市連合母子会 母子連絡員

堀 朋子

6月23日(日)実施。

宇治市総合福祉会館にて交流会を開催いたしました。開催地の宇治にちなみ、山城振興局の職員による「茶ムリ工講座」を行い、親子で宇治茶の歴史やおいしいお茶の淹れ方を学び、中学生以上の参加者には認定証が交付されました。次に、親同士の交流では、グループに分かれて・将来のこと・子育てのこと・仕事のこと・お金や制度のこと等、話し合いの中で悩みを相談したり、共有することができました。各々の家庭の状況ですぐに解決できる内容ではなくても、子供の将来のことについて先輩母の話を聞いて、参考になったとの感想もありました。また、交流の中で、ランドセルが欲しい人とあげたい人がいたことで、この場を機会にしてプレゼントできるという良い結果も得られました。一方、子供たちは、宇治市食生活改善推進委員協議会「わかばの会」の方々のご協力のもと、抹茶を使った水無月やミニバフェ作りをしました。子供同士で盛り付けに取り組み、最後は親子で集まり、皆でおやつをいただき、和気あいあいとした雰囲気の中で終わることができました。

令和元年度京都府母子寡婦福祉大会及び全体研修会

【とき】令和元年 10月20日(日) 【ところ】京都テルサ

体験発表



『夢』

相楽連合むつみ会 大原 誠五

今、私の最大の目標・夢は、陸上競技で全国インターハイに出場することです。

中学の時と違って、高校に入ってからからは全く自分の力が通用しないことに気が付き、正直どれだけ頑張ってもこれ以上自分は伸びないんじゃないかと、やってもいないのに諦めかけた時がありました。しかし、ある時に自分はまだまだ自己管理ができていないから怪我をしてしまったり、工夫が足りないから何も変わらず、結果を残すことができないんじゃないかと考えたことがありました。それと同時に、私の夢を実現するために、いつも励まし、支えてくれる母、そして、私のことを自分のことのように心配してくれる兄、その他学校や陸上の先生方をはじめ支えて下さる皆さんのためにも、このまま諦めるのは違うかなと私の中で思うようになりました。

その結果、高校2年の今年は、400メートルリレーの第3走者として、京都インターハイの決勝で6位に入り、近畿インターハイに出場しました。

また、別の大会では、個人の400メートルで京都府の決勝に残り8位入賞、400メートルリレーでも決勝に残り7位に入賞しました。

私が今、最大の目標としている全国インターハイという一番

大きな大会で活躍するためには、自分一人の力で実現させるようなものではないと思います。だからこそ、日々の努力を怠らず、周囲の方への感謝も忘れず、常に応援されるような人でありたいと思っています。

私が大切にしている言葉で、「辛いのは一瞬、喜びは一生」という言葉があります。

この言葉は、今は辛いことがあって、自分の目の前に大きな壁があったとしても諦めず頑張って、その壁を乗り越え目標を達成した時の喜びは一生心に残るといことです。

これからもこの言葉を胸に刻んで、どれだけ大きな壁にぶつかっても最後まで諦めず、来年の全国インターハイ出場に向けて頑張っていきたいと思っています。

私は、京都府母子寡婦福祉連合会のように、頑張っている人を応援してくださっている方が、たくさんおられるということを知りました。そして、いろんな方に支えてもらいながら日々生活を送ることができているんだなと思いました。

最後に、目標を決めて、その目標を達成する努力をして、それを自信に変えていくことが、毎日を過ごしていく上で大切なんじゃないかなと皆さんの支援を受けて強く感じるようになりました。



『夢』

綾部市母子寡婦福祉会 村上 綾香

私は、高校1年生で、工業高等専門学校に通っています。

そして、今、2つの夢を持っています。

私が通っている電気情報工学科では、電気・電子・情報・通信について学んでいて、1年生では主に、電気基礎と情報基礎を学びます。この間は、人を楽しませるようなプログラムを作るというのがありました。今は、楽しいですが、中学校の時は、プログラムなど興味ありませんでした。技術でやる授業も他の人と比べて出来てきたわけでもないし、むしろ苦手でした。私が今の高校に通おうと思ったのは、先生に勧められて、今の高校のホームページを見ていた時でした。電気情報工学科の取り組みで、医療福祉に関するものでした。電磁波を用いたがん温熱治療装置の開発や障害者のための入力支援装置の開発などです。母が医療関係に勤めていることや、私自身が昔、よく病院に行っていたこともあり、とても興味を持ちました。私も勉強をすれば、こういったものを開発することができるかもしれない。そう思い高校に入りました。高校に入り勉強していくにつれ、ある1つの夢ができました。それは、いつも助けてくれる医者や看護師を支えられるよ

うなものを作ることです。特に、今、情報基礎で学んでいるソフトウェアやハードウェアを作り、日々の仕事が少しでも楽になればいいと思っています。これが私の夢です。

そして、私はもう1つ中学生の頃からの夢があります。それは、母の夢を叶えることです。私を育ててくれて、好きなことをさせてくれて、ダメなことは叱ってくれた母にお返ししたいからです。これが、私にできる一番の親孝行だと思います。昔、母が話してくれた、カフェを開いてみたいとか海の見えるところに住みたいなど聞くのがとても好きでした。中学生の時は、反抗期でご飯を食べなかったり、夜、家を飛び出したりいろいろしました。反抗期を機に、母の苦労や母はいつも私達のために頑張っていることを知りました。そして、母のために出来る事を考えるようになりました。その時、母が話していた夢の話思い出し、叶えてあげたいと思うようになりました。

2つの夢に向かって、今は、勉強を頑張りたいと思います。最後になりましたが、いつも私を支えてくれるお母さんありがとう。反抗期とかわがまま言ったりして、いっぱい迷惑かけてると思うけど、お母さんのおかげで、今学びたいことを学べています。お母さんの夢を叶えるまで待っててくれたら嬉しいです。



『夢を語れる世の中に』

一般社団法人宇治市連合母子会 島崎 陽子

私は、娘が小学校高学年の時期に、離婚をしました。

下の息子は1歳。現在の自宅、府営団地に当選するには3回程抽選に通いました。

それまでの間は、アパートでした。汲み取りトイレに驚く娘。6畳と3畳程の2部屋。安いからと選んだアパートでしたが、乳児と中学入学前の子供達との生活は、出費もかさみ、お隣の大家さん御自宅へお届けに行く御家賃も遅れ気味になったりの生活でした。

私は、実家の御近所には、離婚しているお宅が無い事、いわゆる世間体を気にして古い町内には無理かと思っていましたが、有難い事に、実家の両親が迎え入れてくれました。

早出の日には、母が登園させてくれ、とっても助かりました。

父は、息子の卒園前、母は息子の小学校卒業前に亡くなりました。親不孝ばかりだった私は、今でも申し訳なく反省している毎日です。

息子が、小学1年生から入団して始めたサッカー。母子家庭で、そんな贅沢と思われはしないかと、また、世間体を気にした私でした。成長は嬉しいはずなのに、『え？またサッカーシューズを買いに行くの？』と、大きくなっていく息子を素直に喜んであげ

られない私。中学校ではゴールキーパーに決定。キーパー用の手袋や、一人違うユニフォーム代金。『うちは、周りのお友達のお家(うち)みたいにドンドン新しいシューズとかは買えへんよ。』と話しました。

息子は、私に言われたから守り、セールの安い物を買って我慢していました。でも、周りの子達が黙っていないのです。『もう、手袋が穴あいてきてるし、買い替えたらって言われたし、買って。』と息子から。ユニフォームやくつ下は、洗濯しているので見てやれてましたが、手袋には気がつきませんでした。見ると、1本だけではなく、3つ4つと大きな穴があいていました。『ちゃんとボール掴みにくい。』、そこ迄我慢させて、可哀そうで申し訳なく思っています。

最近では、『もうシューズ買って良いやろう。』と言われ見ると、靴の中から足の指が、2、3本は出て来そうな程の縫い目が取れてしまいバカッと。周りから見れば、恥ずかしいような物を着ていたりする生活。

日常、感謝し過ごしていますが、こんな生活しか出来ない社会をもっともっと子供達が楽しく将来の楽しい夢を語れる世の中に変わって欲しいと強く思います。

全体研修会の部

講演

演題：「ひとり親家庭—母子家庭の生活は今—」

講師：京都華頂大学 現代家政学部 学部長 教授 流石 智子氏

体験発表「夢」を受け、流石智子氏による講演が行われました。「母子家庭の実態を知るための全数調査とヒアリング調査」の結果を基に、働く母子家庭の母親が多い中、女性が働くことを無理なく受け入れることができる社会を作ることが、今後の課題であり、少子高齢社会の日本にとって、この課題解決が、働き方改革や女性に優しい社会となり、母子家庭の生活の質の向上に繋がるのではないかと貴重な講演をいただきました。



アトラクション

バトントワリング

八幡バトンクラブ

演題：「Brand New Day」

代表：北谷 舞子氏

八幡市スポーツ少年団の一員として活動されている幼児から社会人まで、総勢20人のバトントワラーによる圧巻のショーで、会場を盛り上げていただきました。



来年度は結成70周年記念大会です。

令和2年10月18日(日) 京都テルサで開催します。ぜひ、参加してください！

令和元年度 ブロック別懇話会の報告

開催する懇話会は、平成29年より始まり、年1回、北部、中部、南部の地域ごとに支会役員や母子連絡員の皆さんが集い、それぞれの地域特性に応じた活動や取組みについての情報交換や研修、また、勉強会や地域の関係団体との連携強化の取組み等を行っています。

今年のテーマは、「会員獲得に向けて」です。

北 部

日 時：令和元年12月8日（日）
10:00～15:00

場 所：舞鶴南公民館

内 容：各支会共に年々減少する会員について、どのような方法で会員獲得をめざしていけば良いのか、情報を共有し、意見交換をすることにより今後の課題を話し合った。また、来年度施行の高等教育の修学支援新制度について当会白敷事務局長による解説を実施。活動の活性化を目的とし、会員獲得等について情報交換、意見交換をして課題、対策を話し合った。



中 部

日 時：令和元年9月8日（日）
13:00～15:00

場 所：和知ふれあいセンター

内 容：NPO 亀岡人権交流センター事務局長友永まや氏による、演題「社会の親になりませんか―虐待・暴力・貧困の連鎖を断ち切るために、いま、私たちにできること」の講演を聞いた。電話をかける習慣がなくSOSの電話をかけることができない若年層に向けてLINEを活用した相談を始めたとのこと。懇話会では、会員と行政、社協職員を4グループに分けて会員獲得について話し合いを行った。



南 部

日 時：令和元年10月6日（日）
10:30～14:00

場 所：久御山町ゆうホール

内 容：当会白敷事務局長より、高等教育の修学支援新制度についての解説。グループ討議では、支会の枠を超えて南部7支会の役員や母子連絡員、役員、行政職員が母子会活動に連携し活動の活性化を目的とし、会員獲得について情報交換、意見交換をして課題、対策を話し合った。



母子寡婦福祉指導者研修会について

地域母子会のリーダー的立場にある方に、指導者としての必要な研修を行い、さらに母子家庭及び寡婦の自立促進と地域母子会の発展に向け「会員獲得に向けた取り組みの検討」をテーマに講演会、意見交換会などを行う予定ですので、ぜひご参加ください。

日 時：令和2年2月9日（日）13時30分～16時

場 所：京都府総合福祉会館（ハートピア京都4階）

参加対象者：各支会の役員、母子連絡員など各支会3、4名程度



あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願いたします。

令和元年“道しるべ”8月号を新企画で発行させて頂きました。いかがでしたでしょうか。

皆様から色々な意見を聞かせて頂き読んで活用してもらえ“道しるべ”にしたいと思ひます。

そして、寄稿いつもお世話になりありがとうございます。

会員の皆様にとって、この一年が穏やかで楽しい年になりますようお祈り申し上げます。（谷山 大西）

社会福祉法人 京都府母子寡婦福祉連合会

発行責任者 東 美佐子

〒604-0874 京都市中京区竹屋町通烏丸東入る清水町375番地

京都府立総合社会福祉会館内

TEL 075-223-1360 FAX 075-950-1503

<http://hitorioya.kyoto/>